

「天下一能面 近江◇イセキ」について

足柄神社で毎年5月5日に開催される「春の例大祭」(長浜市指定無形民俗文化財)は、御旅所からの渡御を終えた神輿が足柄神社の境内に入る際に、能面をつけた「尉(じょう)」と「姥(うば)」の2人が獅子を伴って神輿を鳥居まで出迎える場面でクライマックスを迎えます。

実は七条と能面には、歴史的な深い関係があります。室町時代の面打・近江井関家は、七条で誕生。井関家は、七条の地を訪れ足柄山箱根権現を勧請したときにこの地に移り住んだといわれ、初代の上総介親信は平泉寺の僧・三光坊(天文元年没)に能面打ちを学び、二代目・次郎左衛門親政も面打の名手となり父子ともに独創的な面打ちを行います。三代目・備中掾宗政から面打ちを継いだ四代目・河内大掾家重は、比類まれな作風により徳川家より「天下一」の称号を受け江戸に移り住むことになります。このように七条の地に育った面打・井関家は「近江井関」と呼ばれ、その技は江戸で大和真盛へと伝えられていったのです。

表の写真、「茗荷悪尉」と「大天神」は、かつてこの春の例大祭で実際に使われていた面で、面の裏には「イセキ」という文字と井関次郎左衛門親政の作をあらわす「◇」が共に刻まれています。そんな由緒ある「尉」と「姥」が登場する足柄神社の春祭りは、面打・近江井関の歴史の記憶を今に伝える大切な民俗行事なのです。

※長浜市指定彫刻文化財「茗荷悪尉」と「大天神」は、現在長浜城歴史博物館に保管されています。



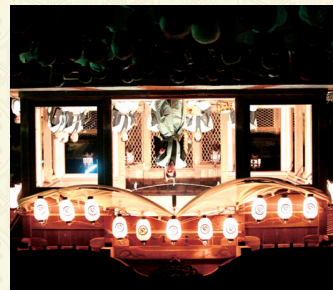
◇連絡先

七条町まちづくり委員会
〒526-0817 滋賀県長浜市七条町703七条会館内
七条町まちづくり委員会事務局
TEL 0749-63-9681 (常駐職員はおりません)
e-mail 777machii@ares.eonet.ne.jp
ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~7machii/>
掲載情報は2012年8月現在のものです

- 【主な活動】
- 2002年 「ウオーキング」開催
 - 2003年 「ホタル観察会」開催(～2009年)
 - 七条町植物相調査実施(～2004年)
 - 長浜市の「コミュニケーションを考える市民フォーラム」で先進事例発表
 - 2004年 「田んぼピクニック」開放(～2005年)
 - 足柄神社裏水路における人工植栽の施工と整備(～2010年)
 - 2007年 「イセキの能面」講演会&展示会、能上演会開催(滋賀県県民文化センター活動)助成
 - 2009年 廃食用油を使ったキッチンイベント「灯り菜(トモリナ)」開催(～2011年)
 - 2009年 「能面打ち体験教室」「受講生作品展」開催(～2011年)

七条町まちづくり委員会

東町・中町・西町の3つの自治会に分かれた長浜市七条町において、2001年、継続的に一体的なまちづくりを行うことを目的に発足した地域活動団体



天下一能面

近江◇イセキ

発祥の地

滋賀県長浜市七条町

